

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【公開番号】特開2011-2477(P2011-2477A)
 【公開日】平成23年1月6日(2011.1.6)
 【年通号数】公開・登録公報2011-001
 【出願番号】特願2009-142947(P2009-142947)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 6/42 (2006.01)
 H 0 1 S 5/022 (2006.01)
 H 0 1 L 31/0232 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 6/42
 H 0 1 S 5/022
 H 0 1 L 31/02 C

【手続補正書】
 【提出日】平成24年2月13日(2012.2.13)
 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0057
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0057】

なお、本発明は本実施の形態に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で各種の変形を許容する。また上記した実施形態によれば、以下の発明が開示されている。

(付記1)

光学電子部品が搭載されている導電性のステム部材と、
 前記光学電子部品と光学結合される光学レンズを支持して前記ステム部材と導通状態で接続される導電性のレンズキャップと、

前記光学レンズに対向する開口孔が形成されていて前記レンズキャップと前記ステム部材からなるCAN部材に絶縁性樹脂により絶縁状態で固定されている導電性の円筒ホルダと、

前記円筒ホルダの前記開口孔と対向する位置に配置されて前記光学電子部品および前記光学レンズと光学結合される光レセプタクルと、

前記光レセプタクルと前記円筒ホルダとをスポット溶接で固定しているZ軸スリーブと、
 を有する光通信モジュール。

(付記2)

前記円筒ホルダは前記レンズキャップを覆うよう配置されている付記1に記載の光通信モジュール。

(付記3)

前記ステム部材に搭載されている前記光学電子部品が受光素子からなる付記1ないし2に記載の光通信モジュール。

(付記4)

前記ステム部材に搭載されている前記光学電子部品が発光素子からなる付記1ないし2に記載の光通信モジュール。

(付記5)

付記1に記載の光通信モジュールの製造方法であって、

前記 C A N 部材に前記円筒ホルダを前記絶縁性樹脂により絶縁状態で固定し、
前記円筒ホルダに前記光レセプタクルを前記 Z 軸スリーブによりスポット溶接で固定する光通信モジュールの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学電子部品が搭載されている導電性のステム部材と、
前記光学電子部品と光学結合される光学レンズを支持して前記ステム部材と導通状態で接続される導電性のレンズキャップと、
前記光学レンズに対向する開口孔が形成されていて前記レンズキャップと前記ステム部材からなる C A N 部材に絶縁性樹脂により絶縁状態で固定されている導電性の円筒ホルダと、
前記円筒ホルダの前記開口孔と対向する位置に配置されて前記光学電子部品および前記光学レンズと光学結合される光レセプタクルと、
前記光レセプタクルと前記円筒ホルダとをスポット溶接で固定している Z 軸スリーブと、
を有する光通信モジュール。